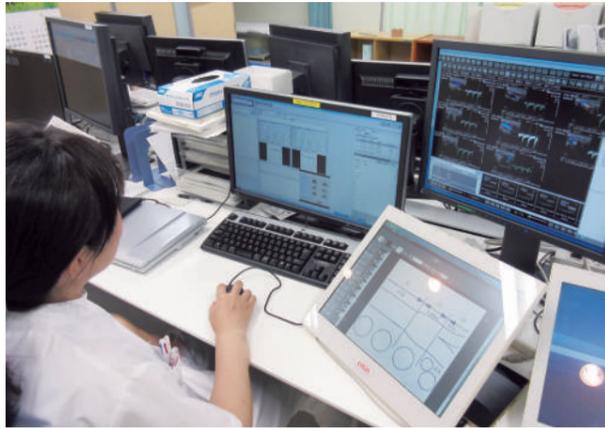


システムの導入で業務内容がスリム化
 自由度の高いシステムのお陰で自分たちの使いやすいレイアウトにカスタマイズが可能



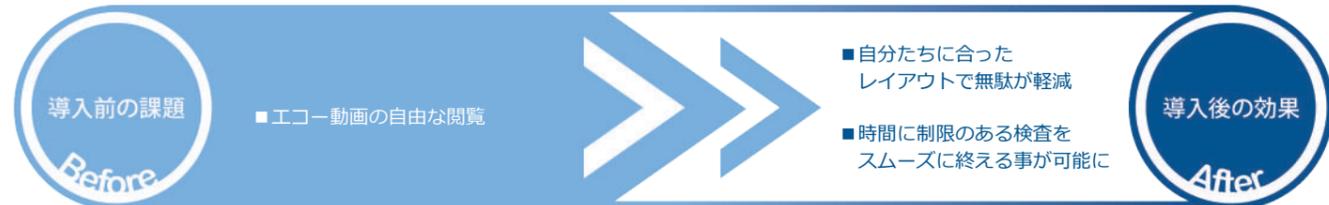
NazcaView, STELLARReport 使用風景

導入経緯
 エコー動画閲覧の機会が増え
 新しい PACS システムの導入を検討

検査室でエコー画像を撮影し始めた頃は、まだオーダも少なくエコー動画も撮影していませんでした。そのうち、画像も DICOM で送信するようになり動画も撮影するようになりました。しかしその当時は、動画はエコー装置に備え付けの DVD に保存していました。そのため、循環器外来からエコー動画を見たくても見ることができないという状況が続いていました。そこで、動画サーバを購入しようということになり新しく PACS システムを導入することにしました。

**自分たちでレイアウトをカスタマイズできる
 自由度の高いシステム**

新しいシステムを検討していく中で、一番魅力的なプレゼンをしていただけたのがアストロステージでした。特に所見システムに関してはレイアウトを自分達で決めることができ、自由度が高いということが選定する上でのポイントとなりました。



導入効果
 STELLAR や NazcaView の導入により
 診察や検査がスムーズに

アストロステージの所見システムでは、自分達の好きなレイアウトに設定することが可能でしたので、スムーズな所見入力ができるようになったと感じています。それにより患者様へいち早く結果を返すことができるようになりました。

今までは決められたレイアウトのレポートで所見を記載しており、かなり無駄があったように思いますが、その点は改善されたと感じています。

また、NazcaView では計測機能がありますので、装置側で計測をせずとも画像の撮影だけを行い、速やかに検査を終えることができるようになりました。容態が悪い患者様を撮影する際には、時間をかけずに検査を終える必要がありますので、患者様の負担の軽減にも大いに貢献してくれています。

各データの参照においては、今まで電子カルテから各部門システムをそれぞれ立ち上げて画像を参照していたため手間がかかっていました。現在は STELLAR を起動するだけでエコー画像も放射線画像も参照できるようになりましたので、大変便利だと感じています。レポート入力に関しても、流れて記載することができるようになりましたので、入力漏れが少なくなりました。



生理検査室の皆さん

四国がんセンター：システム導入時期 / Dec 2013



患者様の立場にたち人格を尊重し、科学と信頼に基づいた最良のがん医療を提供します。

【基本方針】

1. 患者様の権利と尊厳を守る診療・看護を実践します
2. がん基幹医療施設として全国及び地域の医療施設と連携した最新の医療を実施します
3. がん克服に向けた予防・診断・治療の研究を推進します
4. 最新のがん医療の普及を目指した教育・研修を実践します
5. がんに関する医療情報の収集と国内外への発信に努めます
6. 健全な病院運営、継続的な意識改革により患者様の視点にたったサービスに努めます

所在地：愛媛県松山市南梅本町甲 160
 病床数：405 床
 診療科：消化器内科・消化器外科・呼吸器内科・呼吸器外科・緩和ケア内科・精神腫瘍科
 泌尿器科・血液腫瘍内科・感染症/腫瘍内科・婦人科・乳腺外科
 リハビリテーション科

今後の期待・要望

エコー装置でできることも増えてきていますので、各機器メーカーの動向も視野に入れたシステムを作っていただけることを期待しています。

また、今後も様々なご要望をすることがあるかと思えます。要望を取り入れてより良いシステムを構築していただけますと幸いです。

今後の方針

四国地方の「がん」に関する中心的施設として、ナショナルセンターとの連携の下に、高度で専門的な医療、臨床研究、教育研修及び情報発信の機能を備えた施設を目指しています。

他施設で滅多にない症例であっても、当施設の情報により診断の手助けになれば良いと考えています。

システム構成図

